

令和6年度
「地域まるごとホテル@三浦半島」
事業説明会・交流会

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
委託事業者：株式会社さとゆめ

- 開会の挨拶
- 「地域まるごとホテル@三浦半島」事業説明
- 事例紹介：山梨県小菅村の「“村”まるごとホテル」

株式会社EDGE 谷口峻哉

- 参加者ワークショップ^o
- 個別相談／エントリー受付

開会の挨拶



「地域まるごとホテル@三浦半島」とは

地域まるごとホテルとは、宿泊施設と周辺の観光施設が連携して事業展開をすることで、様々な事業者が参画した地域一体となったおもてなし体制の構築をし、従来の1つの宿泊施設で全ての観光機能を提供するのではなく、「泊・食・観光」の各機能がエリア内に点在し、エリア全体で1つのホテルのようなおもてなしを提供するものです。

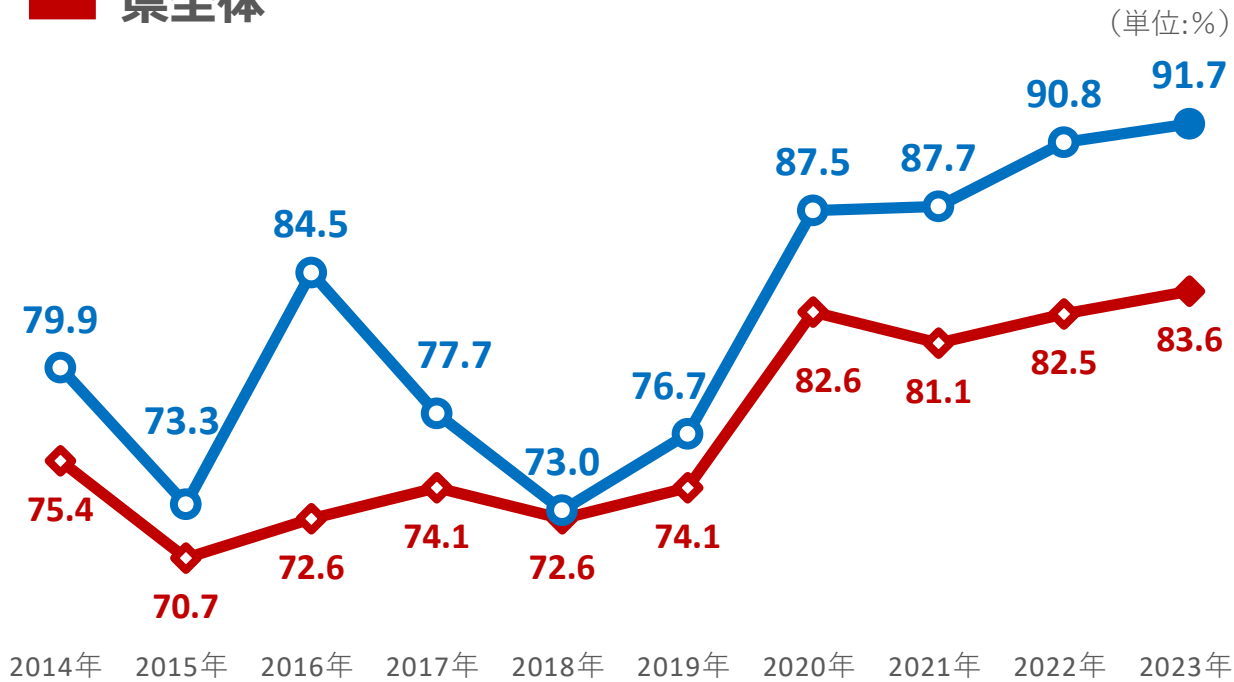


取組の背景

日帰り観光客の割合

観光客に占める日帰り客の割合は、県全体の割合を上回っている状況が10年以上続いている

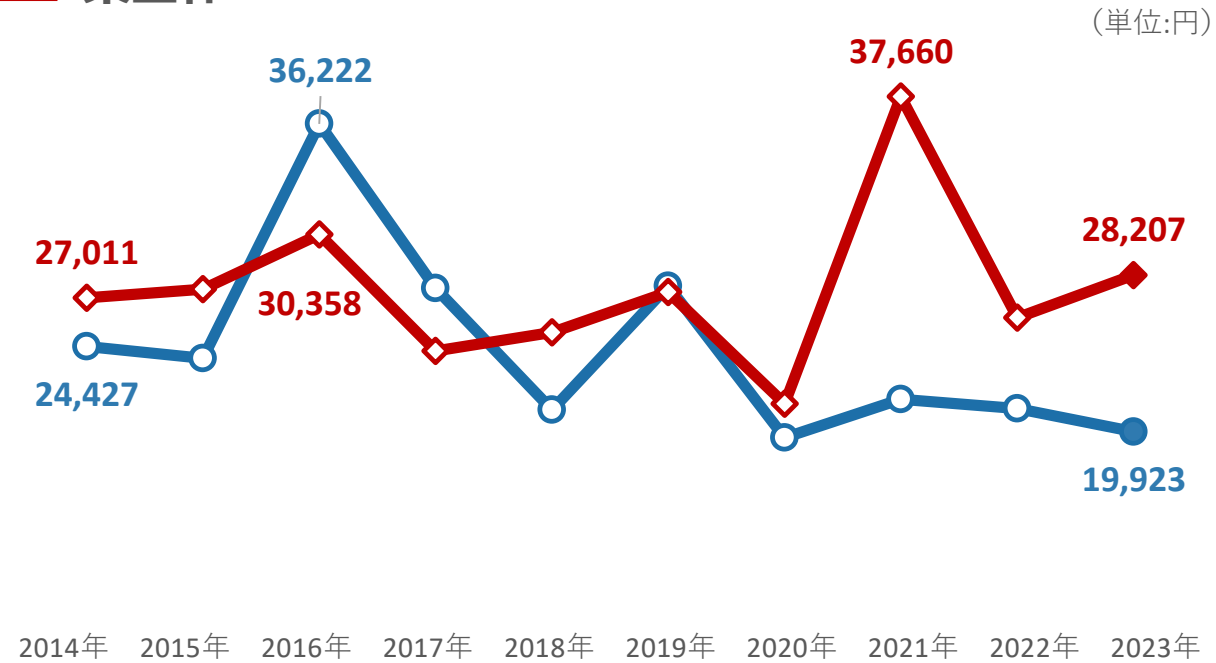
■ 三浦半島地域（鎌倉市除く）
■ 県全体



宿泊客の平均消費単価

宿泊客による平均消費単価は県全体と比べて、低い傾向になっている

■ 三浦半島地域
■ 県全体



各々のエリアの魅力である歴史、文化、産業、自然等を活かして
観光客が回遊して楽しめること

地域事業者が主体的に行動し、
様々な事業者を巻き込み、地域が一体となる取組であること

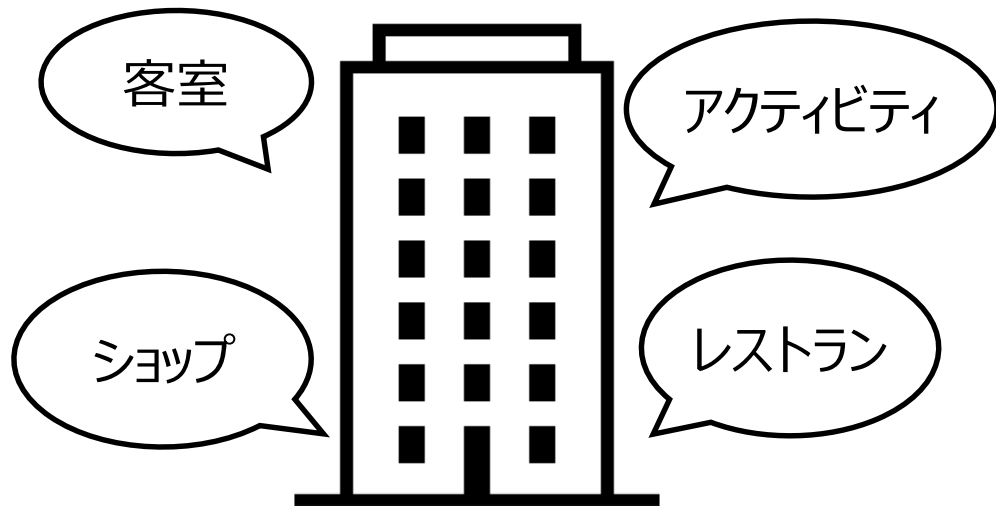
地域まるごとホテル@三浦半島 事業説明



事業概要

地域まるごとホテル@三浦半島のイメージ

従来



地域まるごとホテル

- 「泊・食・観光」の各機能がエリア内に点在
- エリア全体で1つのホテルのようなおもてなしを提供



※イメージ

地域まるごとホテルでの滞在イメージ

1日目

12:00～ ホテル近隣の飲食店で昼食

14:00～ 公園や美術館などの散策

16:00～ ホテルチェックイン

18:00～ 連携するまちの飲食店で夕食

19:00～ 連携する事業者の夜景ナイトツアー

21:00～ 宿泊施設に滞在

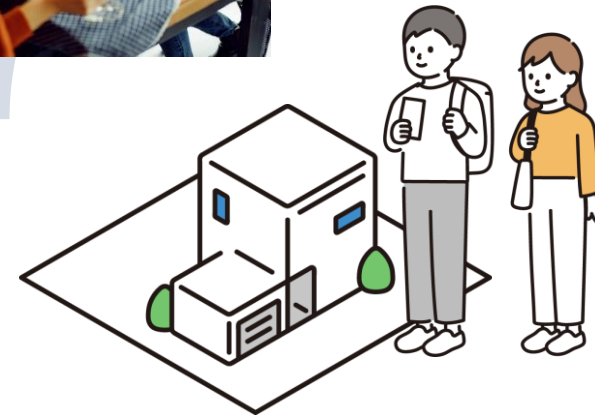
2日目

6:30～ 朝、連携事業者の畑でお野菜収穫

8:00～ 採れたてお野菜で朝食@ホテル

11:30～ 飲食事業者のお店で昼食

14:00～ 観光施設でお買い物



このエリア面白い！
また来たい！



参加要件

主な要件

- 全ての施設が三浦半島地域内に所在
- エリアのアイデンティティを活かし、全体の消費額を相乗的に高める取組が可能な範囲
- 宿泊、飲食、観光の機能がエリア内に分散
- ストーリー性のある回遊パッケージ等の地域一体となったおもてなし体制の構築
- 宿泊事業者、飲食事業者、その他事業者が各1者以上参加
- 伴走支援を受け、実施計画の作成を行う

イメージ



参加者の主な条件

宿泊事業者

- ・ホテル、旅館、民宿等の旅館業法第3条に許可を受けて営業するもの（※）
- ・住宅宿泊事業法第3条の届出をして営業するもの（※）

飲食事業者

- ・食堂、レストラン等の食品衛生法第55条の許可を得て営業するもの（※）

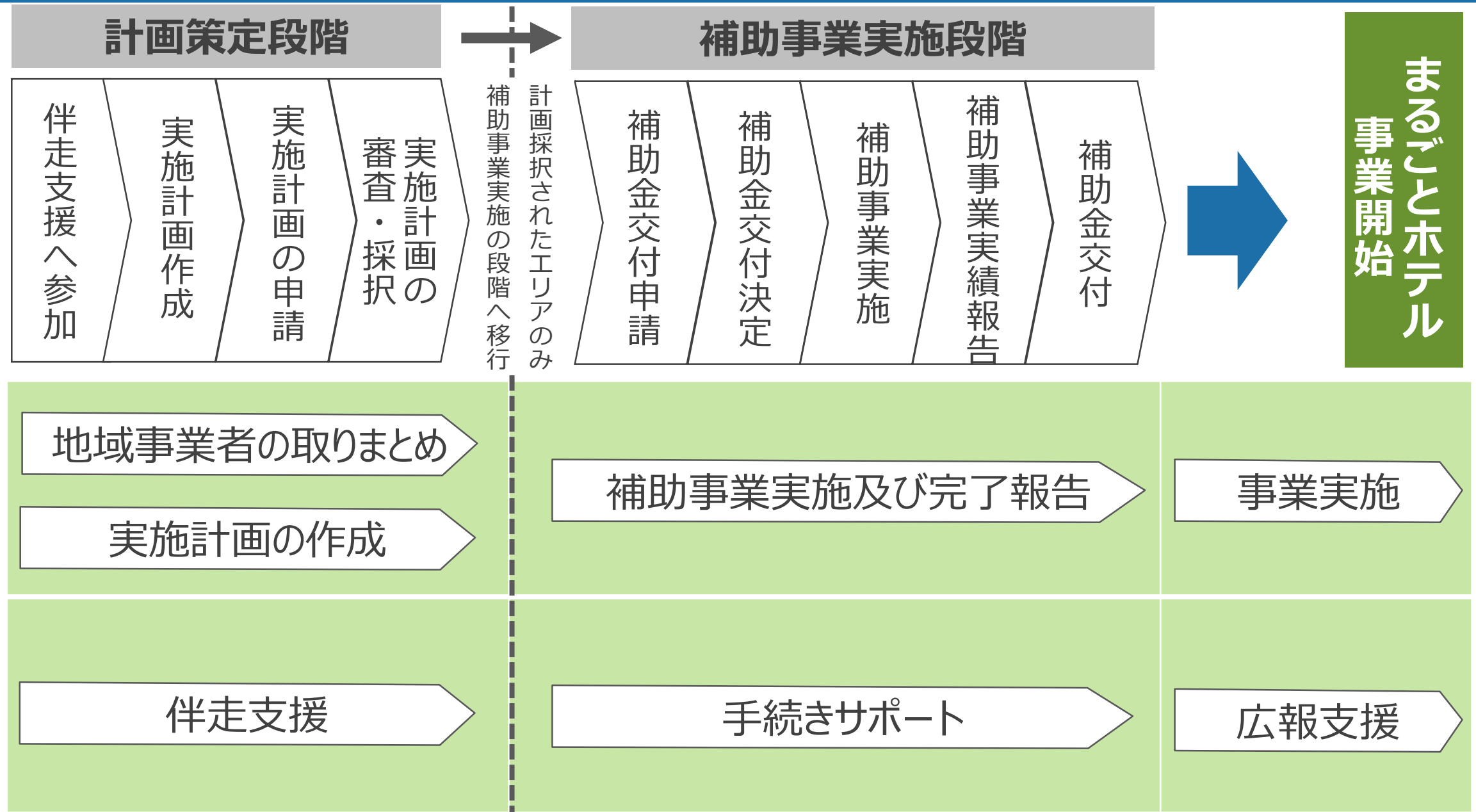
その他事業者

- ・三浦半島地域内において観光客向けのサービスを提供又は提供予定であるもの
参考例：マリンスポーツ、レジャー施設、アクティビティ、観光農園、農漁業体験、
神社、寺院、その他観光向けのサービス等

※実施計画の申請時に必ずしも営業許可を受けている必要はありません。補助事業実施後に営業許可を受けることも可能です。

三浦半島の地域活性化に興味がある、地域一体となった取組に興味がある人

事業スキーム



実施計画の申請時期について

	第3期	第4期
申請受付期間	11月25日（月） ～ 11月29日（金）	1月27日（月） ～ 1月31日（金）
採択結果 通知予定日	12月下旬	2月下旬

※スケジュールについては、申請状況等により変更になる場合があります。

実施計画概要

<全体計画>

エリア全体の事業計画



「泊・食・観光」の
事業者が連携して
どんな事を実現するか

<エリア協定書>

エリア内の実施体制を規定する
協定書



共同で事業実施する
体制をつくる

<個別事業計画>

各事業者が実施する
個別事業の計画



各事業者が
どんな事を実現するか

<補助事業計画>

各事業者が実施する
補助事業の計画



補助金をどのように
使用するかの具体的
な計画

⇒実施計画は4つの様式から構成され、エリア内の代表者が事務局へ提出

事業実施計画書の記載例（抜粋）

総括 (様式1) 全体計画

<エリア名>
山梨県小菅村

<エリアのビジョン（目指す姿）>
「多様な人々が集い、創造的で自由な生き方を実現する村」
多摩川源流の美しい自然や原風景を守りながら、新しい考え方や人も積極的に受け入れる。
自由な気風に惹かれて多様でユニークな人材が集い、村内で交流が生まれ、新たな取り組みや事業へと発展する。
日本の里山における創造的で自由な生き方・働き方をリードする村を目指す。

<地域の課題>
・ほとんどが、「日帰り」観光客であり、年度を通じた「宿泊」の比率は村外宿泊率で約15.5%、村内宿泊率で約8.3%。
・昭和30年代には2000人台であったその後年々減少し、現在は600人台と山梨県内でも2番目に人口の少ない村になっている。
人口減少に伴って空き家が増え、現状は村内に約100棟の空き家があり、年々増加している。

<事業のターゲット>
・メインターゲット：一定の価値観を共有できる夫婦・カップル（都心部 外国人）
消費目的の観光よりも、異文化体験目的の観光に興味がある。商業的・作爲的・大衆迎合的な考えを嫌い、自らが本当に良いと思えるものを主體的に選別しようとする姿勢がある。都会の利便性は必要であるものの、自然や人との繋がりが希薄であることに物足りなさを感じている。上記のような価値観を持つ夫婦・カップル（都内在住、大月駅を経由して富士山に向かう外国人）
・サブターゲット：都心部に住む家族連れ、企業・ノマドワーカー
日々の生活でなかなか自然に触れ合う機会のない子供に、豊かな自然体験や学びを与えたいと考えている若い夫婦。近郊の豊かな自然環境に、「働く場」「研修の場」としての魅力を感じている食品・環境・IT系企業やワーカー。

<事業のストーリー・コンセプト>
村全体がひとつのホテル。
～ 山里の暮らしの豊かさ、新しい生き方に触れる旅～
多摩川源流・小菅村。
人口700人の小さな村全体を一つのホテルに見立てる。
村内8つの集落に点在する古民家はホテルの客室。
あるいは村人も集うカフェ・エステサロン・新たな発想を生み出すオフィス。
村の駐道や生活道はホテルの廊下。道の駅はホテルの売店。
小菅の湯は、村人との交流も楽しめる、ホテルの大浴場。
村人は住民であるとともに個性的なキャストに。
小菅村は、人口減少フェーズを迎えた日本における、新たな生き方の先進地とも言える。その小菅村で、村人の暮らしに内在する普遍的な豊かさ、都会から移り住む若者たちが体現する新しい豊かさを感じる。
そして、それが次への一歩に繋がる。
そんな懐かしくて、新しい体験を提供するホテル。

2

SWOT分析 (様式1) 全体計画

強み (Strength)
・首都圏からのアクセス性の良さ。
・多摩川の源流に位置している豊かな自然環境。

弱み (Weakness)
・滞在型コンテンツや宿泊施設が少ないため、日帰り客が多く、観光客の平均消費単価も低い。

機会 (Opportunity)
・afterコロナにおける国内観光客及びインバウンドの復活。
・近隣エリアを含めた人口規模の多さ。

脅威 (Threat)
・少子高齢化による人口の減少。
・空き家及び空き店舗の増加。

5

地域回遊の仕掛け（カスタマーエクスペリエンス） (様式1) 全体計画

<エリアマップ>
小菅の湯 NIPPONIA 小菅源流の村
ホテルの大浴場 大家
道の駅こすげ 崖の家
ホテルの売店
広々とした部屋 重厚なはり
マウントビュー 暖炉

<カスタマーエクスペリエンス>
<1日目>
15:00 「NIPPONIA小菅 源流の村」到着
15:15 ホテルを見学
15:30 客室に入る
16:00 村人の案内で小菅村を歩く
17:30 「小菅の湯」で温泉に浸かる
18:30 「24SEKKI」で夕食
<2日目>
8:00 「24SEKKI」で朝食
9:30 客室でゆったり過ごす
10:00 「道の駅こすげ」でお土産購入
11:00 チェックアウト

注意事項
■ エリアの要件や、滞在時間の延長の促進や観光消費額の増加等に資する取組が計画の中に含まれているか、などを確認するページです。
■ 対象エリアでの観光客の滞在価値を示すため、カスタマーエクスペリエンス（顧客へ提供する体験）を記載してください

8

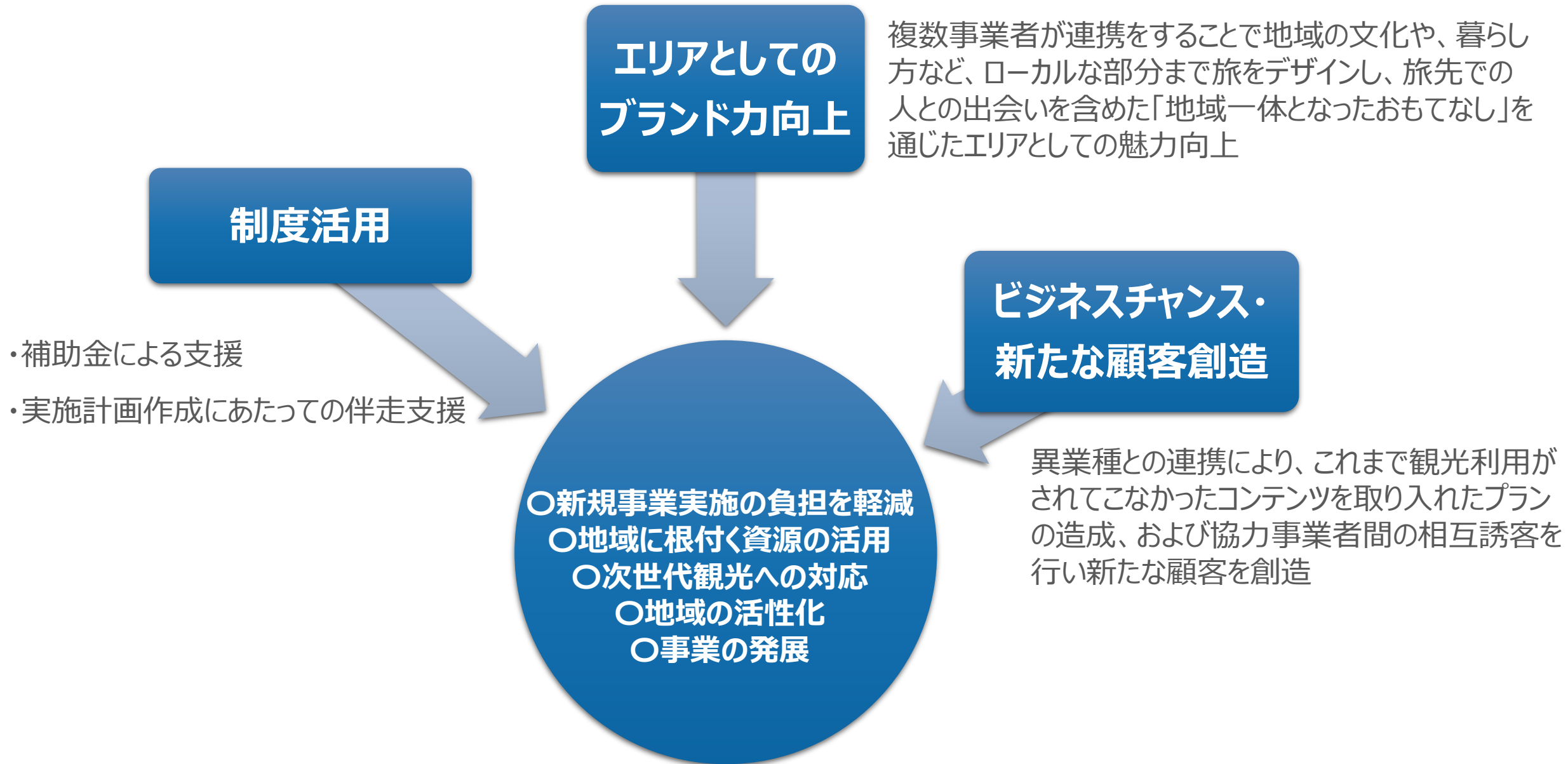
全体計画KPI (様式1) 全体計画

KPI	現状		短期目標			中長期目標	測定方法
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	20xx年度	
地域まるごとホテルプラン利用者数	-	-	〇人	〇人	〇人	〇人	予約サイト及び電話からの予約数を予約台帳から集計する。
地域まるごとホテルプラン売上高	-	-	〇円	〇円	〇円	〇円	POSレジデータからプラン売上額を集計する。
エリア内の観光客数	〇人	〇人	〇人	〇人	〇人	〇人	県や市町の観光統計から観光入込客数を概算する。

注意事項
■ ビジョンの達成に向けて具体的なKPI（例：観光客数、観光消費額、利用者数、売上高、宿泊率、リピー率など）を設定してください。
■ KPIは3つ以上設定してください。

9

地域まるごとホテル@三浦半島に参加するメリット



伴走支援

伴走支援とは

目的

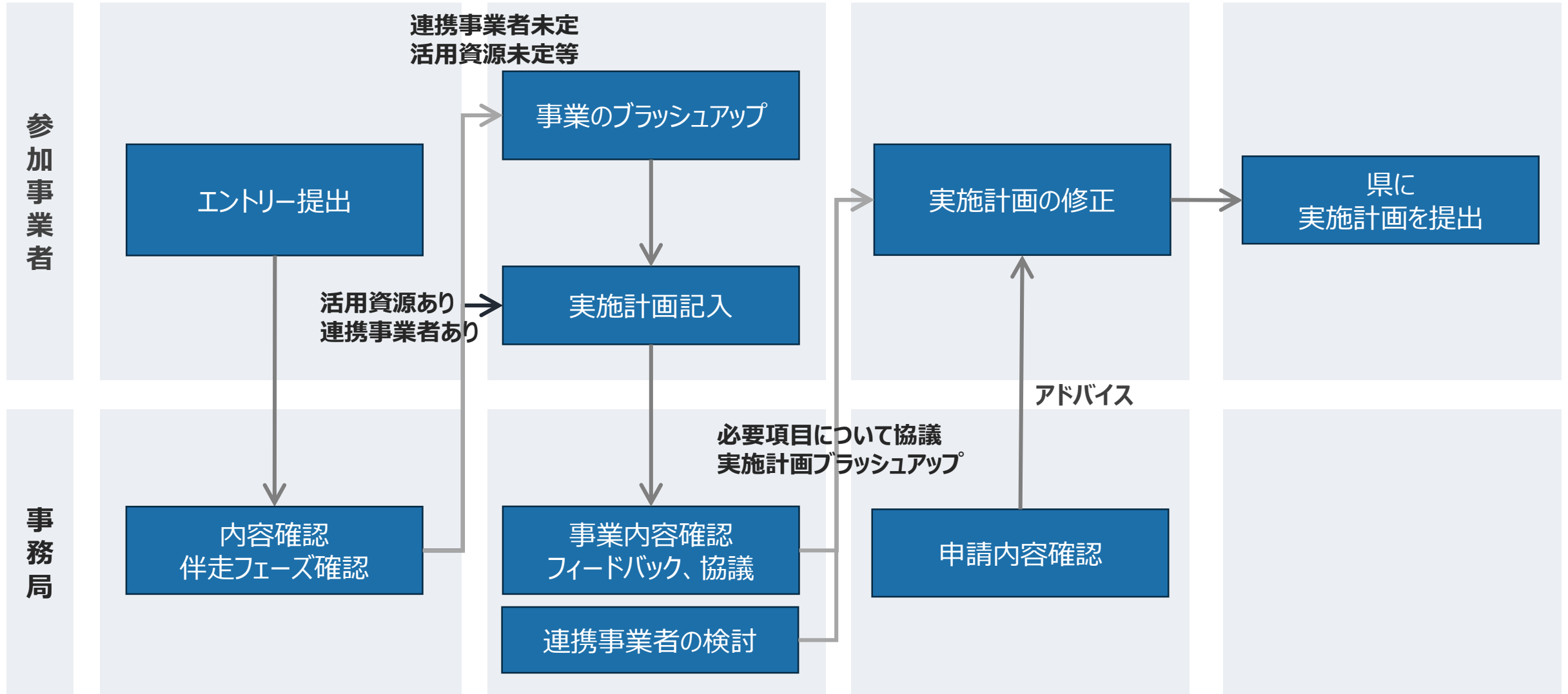
実施計画に申請をご予定されている参加事業者の皆様が、実施計画の申請に向けてまるごとホテル事業を理解され、より魅力的で適切な計画の策定を行えるよう、参加事業者の皆様の状況に合わせてご支援をすることを目的とします。

支援内容及び体制

領域	担当者	支援内容・方法
分析、コンセプト開発 地域ブランディング	小川 恭子 佐々木 隼人 嶋田 俊平	主にマーケティングの視点から、事業者の皆様の提案をブラッシュアップいたします。 ※活用できる地域資源及び、顧客層、事業者の強み・弱み等から、適切なターゲット設定、コンセプト開発、地域資源の付加価値化等
エリアマネジメント サービス開発	谷口 俊哉	主に地域独自のコンテンツの発掘及びサービス化に関するアドバイスを行います。 ※地域まるごとホテルの実践者として、顧客へのサービスに転換できる地域資源の発掘の仕方、付加価値化、サービスへの落とし方 等
建築、設計	福井 遼	主に建築、設計などハード周りでご支援が必要な方にアドバイスを行います。 ※建物の改修を行う際に見ておくべき費用、改修時に確認すべき事項 等
事業融資、経営相談	昔宮 賢典	主に財務、収支計画に関するアドバイスを行います。 ※自己資金、融資、補助金のバランスを考えた収支計画に関する
DX関係	昔宮 賢典	主にサービスオペレーションにおけるDX化について必要な方にアドバイスを行います。 ※POSシステムのデジタル化、顧客管理方法 等

伴走支援の進行イメージ

伴走支援は、エントリーをいただいてから開始いたします。事業の計画状況によって適宜、各専門領域の担当者をご支援します。



採択エリア

三崎港エリア（第1期で採択済み）

伴走支援実施中

横須賀、三浦、葉山のエリアで合計3者の伴走支援を実施中

伴走支援事例

コンセプトの設計サポート



素材はあるが、表現方法が分からない

強みを分析し、納得のいくコンセプトを一緒に作りました！

実施計画書の作成サポート



計画書に落とし込むのが難しい

密に打合せを実施し、壁打ちの際の想いの端々を一緒に言語化しました！

各種リサーチのサポート



他の地域の事例を参考にしたい

モビリティ等の導入事例や参考となる宿泊施設のリサーチを行いました！

Q 活用したい地域資源はあるが、ターゲットやサービスをどう考えて良いかわからない

<支援内容>



担当が伺って現状をお伺いします。

伴走支援担当が伺って申請者の事業環境や資源など、地域まるごと事業に必要な情報をお聞きます。



生かしたい資源や提供したい価値をもとにターゲットやサービスの内容を検討します。

マーケティング支援担当が事業者様とディスカッションをしながら検討します。



ターゲットに沿って必要なサービスフローを考えます。

実際にホテル、観光業を営んでいる担当も入り望ましいサービスフローを検討します。

事業者様が検討内容をもとに実施計画を完成させます

Q まるごとホテルに関する可能性は感じているが、しっかり改修しようとする融資も必要だ

<支援内容>



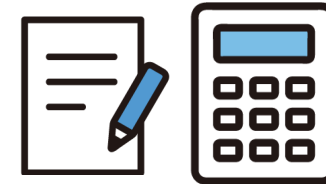
**担当が伺って
現状の計画をお聞きしま
す。**

伴走支援担当が伺って
現在お持ちの投資開発計画の
全体像をお聞きします。
その上で、実際の事業計画の
策定フォローをします。



**必要に応じて
金融機関への説明資料等の
アドバイスを行います。**

投資額が大きい場合、実際の回収シ
ミュレーションなどについてもご相談を
お受けできます。



**今回の事業で補助対象として申請する
事項を検討します。**

補助事業も含めた新規サービス開発に関わる投資
について、財務面等も考慮しながら
どの部分を補助事業として申請するか等の
相談に対応します。

その他支援例 ③連携事業者のマッチングに関するフォロー

Q A地区の、山の方にある資源と連携した内容を考えたいが、具体事業者がない

<支援内容>



担当が伺って
想定されている
連携対象をお聞きします。

伴走支援担当が伺って
現在想定されている計画と、連
携する事業者のイメージや組み
方についてお聞きします。



事務局で情報共有を行い
ご連携の候補事業者様を
ご提示します。

実際の連携可否ではありませんが、事務局
にてリサーチの上、ご想定されている
ターゲット、コンセプトに
マッチする事業者様をご提示します。



連携可能性のある事業者様に
一緒にご訪問をするなどして
本事業のご説明などをフォローします

ご相談者様においても連携の可能性を感じていた
だけたら、ご一緒に訪問をして
本事業に関するご説明や、ご相談事業者様が
考えているサービス展開についてのフォローなど
必要な支援を行います。

補助金による支援

補助金概要

基本的な考え方

三浦半島地域を訪れる観光客の滞在時間の延長及び平均消費額の増加につながる施設等の改修や備品の購入、ソフト導入等の収益力を向上させる事業に対して補助を行う

補助対象者

実施計画の採択を受け、事業を実施する者

申請期間

令和6年9月2日（月）から令和7年1月17日（金）まで

項目	補助事業	補助率	補助上限額
ハード	①宿泊施設等改修事業	1/3以内	1,000万円
	②施設関連設備・システム等導入事業		
ソフト	③プロモーション・運営支援事業		300万円

1エリアで1,300万円（ハード1,000万円+ソフト300万円）が上限

审查·探択

審査概要

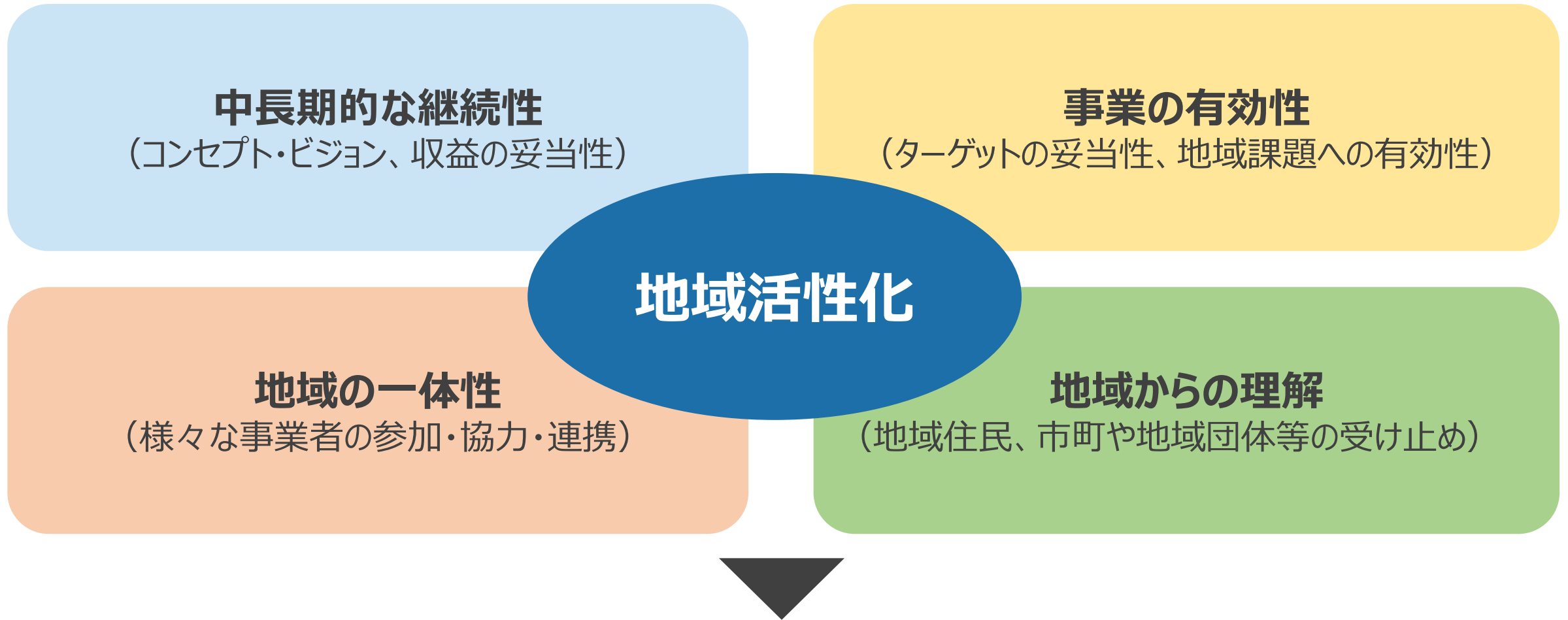
基本的な考え方

- ・市町や商工団体等の関連団体に意見照会を行うことで、地域の特徴を捉えている計画にする
- ・地域活性化や観光経営等の知見を持った有識者から意見をもらうことで、より良い事業を目指す

審査フロー



※伴走支援は、最長で令和7年2月末まで受けることが可能です。
※スケジュールについては、申請状況等により変更になる場合があります。



採択を受けた実施計画に基づき補助事業を実施可能

エントリー及び事業についての質問

エントリー及び事業についての質問

エントリー

✓ エントリー受付期間：令和6年12月15日（日曜日）まで

✓ エントリー手順

① 県HP掲載のエントリーシートを

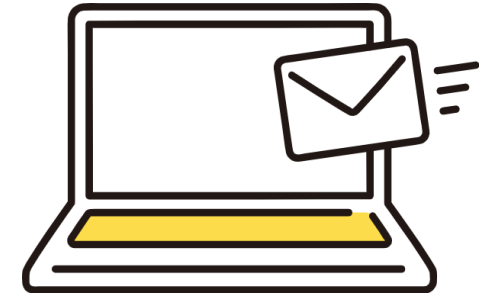
ダウンロード



② エントリーシートの
必要事項を記入



③ メールで事務局へ提出



※本日の説明会終了後に直接、エントリー（紙面）でも受け付けます！

事業についての質問

✓ 事業についての個々の質問は、全てのプログラム終了後に事務局までお問合せください